

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会  
発行人 前田 寛  
東京都千代田区西神田  
千代田区西神田1-7-7  
電話 2426・2932  
2426・36337

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。  
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常にその改善に努力し、ついで教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。  
(財団法人 全国修学旅行研究協会 趣意書から)

## 本年度中に改訂を

### 文 部 省

## 遠足・修学旅行についての通達、検討は始める

文部省は去る十月十九日、東京農林年金会館で都道府県教育委員会指導事務担当者連絡会議を開き、  
○児童生徒の学習熟達の問題  
○修学旅行の在り方についてなどの件について審議をすすめた。  
議題の一つである「修学旅行の在り方について」は、去る昭和四十三年十月二日付初中第四五〇号、各都道府県教育委員会あての、文部省初等

中等教育局長通達「小学校、中学校、高等学校等の遠足・修学旅行について」をめぐり、この通達が発せられてから二十一年近くも経過し、この間に社会情勢も著しく変化し、時代の要請もすっかりさまざなりしている。通達内容を再検討する時期にきていたとの判断から提案されたものである。  
当日は次の四点に問題点を

- ① 航空機の利用について
  - ② 船中泊の規制の在り方について
  - ③ 外国への修学旅行について
  - ④ 目的地の選定の問題について
- 更に①については東京、北海道、沖縄、長崎、②については福岡、熊本、長崎、埼玉

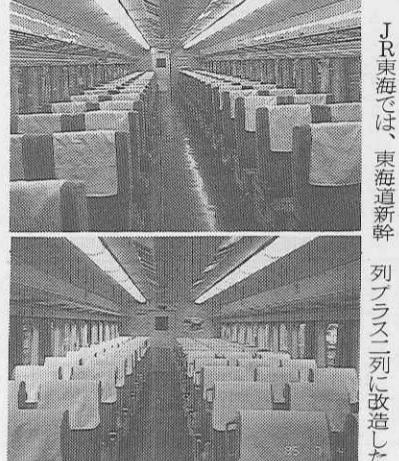
しほり、中学校課長辻村哲夫氏、教科調査官高橋哲夫氏からそれぞれ説明があった。  
①航空機の利用について  
②船中泊の規制の在り方について  
③外国への修学旅行について  
④目的地の選定の問題について

### 新幹線に五つの新駅が来春誕生

東海道・山陽新幹線に、来年三月十三日のダイヤ改正に合わせて五つの新駅が誕生することになり、このほどその名称が決まった。  
JR東海では、三島静岡間に「新富士(しんふじ)」、静岡(ひがしひろしま)の二駅

で、掛川は東海道本線の駅に併設、三河安城は同線の駅と連絡するが、他の三駅は新しい場所で開催する。  
いずれも「こだまタイプ」が停車するが、これにより、こだまの所要時間は一駅あたり五十分程度延長されることとなる。

### 2&2シートの「新こだま」登場



新こだまの指定席車①と従来の車両②

JR東海では、東海道新幹線「新こだま」登場  
線こだま号の普通車指定席のグレードアップをはかり、これまでの三列バス二列を二列バス二列に改造した車両をグリーン車タイプの二人掛けシートにした編成が登場、来春のダイヤ改正までに、すべての「こだま」をこの編成に置きかえる予定であるが、指定席の数はこれまでの百九十席が百五十二席に減少する。  
新駅開設と指定席減少により、修学旅行の計画転送に影響がでることを付記したい。

### 中国、韓国への修学旅行可能に

長崎県教育委員会では、去る九月十日付で、県立高等学校が中国および韓国への修学旅行を実施できるよう、つぎのとおり各高等学校長に通知した。  
二十一世紀を担う高校生の国際的視野を広げ、国際化社会に対応できる人材の育成を図るため、県の地理的状況、歴史的背景、日本文化との関係等を考慮したものである。  
一、目的 国際理解、友好・親善  
二、旅行日数 五日六日以内  
三、旅費 渡航手数を除き、現行の基準額、ただし中国は特別で九万円以内  
四、団長 原則として校長  
五、交通機関 必要があれば航空機利用可。  
これによって、すでに韓国

### 長崎県立高へ修学旅行を実施した高校

への修学旅行を実施した高校は、本年度中国への旅行を計画中の高校もあり、今後増加するものと思われる。

### 修学旅行の夜 体験学習を

一、伝統芸能  
西陣織会館で①十二単を着付けの琴演奏②辻芸③伝説芸能。四百五十名、駐車場あり。参加料小・中八百円、高千円。  
二、修養  
建仁寺で①座禅/法話②抹茶作法。二百五十名、駐車場なし、参加料小・中五百円、高六百円。  
いずれも十九時から六十分間。予約制。問い合わせ。申込は千歳会館(京都市左京区岡崎勝勝寺町一三)京都府会館(京都市観光課 075・252・0215 または(京都市観光協会 075・752・0255)へ。

### こまどり号を中心に修学旅行を考える会

全修協では、十月二十三日名古屋山王山会館において、「修学旅行を考える会」を開催した。この会では、本協会が主催、東海三県教育会の協力で昭和三十五年四月から運行した修学旅行専用電車「こまどり号」の関係者が集まり、

創設の苦心やその後の運営、今後の課題などが話し合われた。  
こまどり号は、二十八年間に三百二十万名の中学生の快適な安全な輸送と旅費の節減に寄与してきたが、関係者の集い(こまどり会)が、関係者の集い(こまどり会)を結成し、修学旅行・教育の諸問題を考え、語り合うことになった。

### 第4回全国修学旅行研究大会

11月20日 名古屋で開催  
行の実践をめざして  
主催 財団法人全国修学旅行研究協会、東海三県中学校修学旅行委員会  
後援 文部省ほか  
全修協本部にFAX設置  
財団法人全国修学旅行研究協会の本部事務局に、このほどラッシュミラーを設置した。番号は03・2622・39331で電話と共用になっている。諸連絡に是非ご利用を。

### 法人許可30周年 迎える 全修協

財団法人全国修学旅行研究協会は、十一月八日(文部省)の法人許可三十周年を迎えた。ご協力いただいた関係各位に深謝しあげる。

### 風紋

通勤の車窓から、住宅街にはさまれてわずかに残っている田んぼを見ると、季節の移り変わりが感じられる。もうほとんど刈り入れが終って紅葉も北から南に移り、十一月は「旅」の季節である。この時期になると、修学旅行が急に目立ってくる。その生徒たちを見ていて、ふとある作家の書いていたことが思い浮かんできた。「朝の冷気を満喫して車に戻ると、下から早くも学生を乗せた観光バスが上ってくる。彼等が到着した途端、聖なる場所は喧嘩と混雑だけの観光地にさまざなりする。それにしても、なぜ修学旅行生を、こういうところへ連れてくるのであろうか。中略悪戯さかりの高校生に、お寺やそれに関する文化財を見せたいところで、ほとんど無意味だろう。二十才にもならぬ若者にとって仏教なんぞなんの関心もないだろう。中略せつかく建物や庭の美しさに見とれているときに、騒々しい修学旅行の団が通りすぎると異議を述べるといふのである。寺社や優れた文化財を静かに鑑賞したり、雰囲気にとろとろと洗われる思いがするものである。しかし、そうかといって、「仏教なんぞなんの関心もない」と修学旅行生を決めつけるのは、一部の人たちのご慢であり、あまりに一方的ではないだろうか。修学旅行で見た仏像に心をひかれ、大人になって研究者になった人もいれる。教育としては、静かに学び鑑賞する指導に大いなる努力を払いつつ、今の若者にこそ、歴史的な文化財に接する機会を持たせることが大切だと思う。

信頼される旅づくり

## 先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません！」



生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。  
先生と、そして友と行った修学旅行。かけがえのないふれあいが、よき思い出としてひとりひとりの心に残る、そんな旅にしてあげたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111代 支店/国内242ヵ所(登録)/海外14ヵ所



生徒指導と特別活動・修学旅行

はじめに 一、修学旅行実施基準等の見直しの必要

この標題によるシリーズとして、先月号までは、国内における修学旅行の改善や工夫を通しての国際理解教育の在り方を述べてきた。

今回からは、ほぼ一回に分けて、海外修学旅行の在り方を主に、今後の方向を考えてみたい。

ところで、最近では修学旅行や集団宿泊指導に対するさまざまな要請や期待がふえていくようである。「洋上」学習や研修についての国会質問や意見、この九月に運輸省が発表した海外旅行増進計画(テン・ミリオン計画)などは、その一端であらう。

公教育の一環として実施される修学旅行は、これらの状況を十分に把握した上で今後の改善・充実が図られねばならず、また、それだけに、修学旅行のもつ社会的経済的影響も様々であり、また大きいと考えられる。

このよき観点から修学旅行の改善の今後の具体的内容を考えるに、まず検討されねばならないのが、そのハード面、すなわち、旅行の手法や方法、それに関連しての目的地の選定などの問題である。

国際理解教育をねらいとする海外修学旅行は、特に公立にあっては高次の少数に過ぎないが、その実施の検討に至るまでのプロセスとしては、船中泊を含めての船の利用、あるいは国内での航空機の利用の在り方などについての見直しが当然のこと

47

来、約二十年間、時代の推移にもかかわらず、ほとんど見直しが行われていないようにもうかがえるが、いかがであるか。

ところで、文部省では、去る十月十九日に都道府県教育委員会の主任指導主事等の参加による修学旅行の改善等に関する連絡会議を開催した。今回は、その会議で報告された各県等の「実施基準」の見直しの状況や今後の方針などを紹介することにし、国際理解教育推進のための修学旅行の在り方を考える上で資料とした。

修学旅行改善のための理論と実践例

国際社会に生きる 資質を養う修学旅行 (7)

二、文部省の修学旅行の改善に関する連絡会議の概要

1、情報交換による各県等の実施状況や今後の方針、検討課題など

(1) 航空機の利用について ○利用しなくとも目標を達成できる、安全性や経費の点、PTAが利用に消極的、などの理由から現在では時期尚早とされている。(東京都)

(2) 船中泊の規制の在り方について ○昭和五十九年度から「フロンティアスクール(洋上学校)」を重点的に実施、小学校五年生の全員を対象、たぐいましい人間形成、船内集団生活を通じての社会性やふるさとを愛する心の育成などを目標に、養護学校を含めて他校との交流を図っている。保護者

の賛同も得られ、児童も楽しみにしている。(滋賀県)

○洋上学校構想については、委員会を設けて検討する方向にある。(東京都)

(3) 外国への修学旅行について ○五十九年度から小倉商高が韓国で実施。県では現在試行期間とし、視察を行い検討中である。各国の受け入れ態勢や語学の事前学習の必要等、海外修学旅行を全面的に認めるには問題があるが、これら課題を解決しながら徐々に認めていく方向である。(福岡県)

(4) 目的地の選定についての諸課題 ○六十一年四月に「基準」の見直しを行った。小学校については、目的地を隣接県まで広げると共に、修学と集団宿泊指導との関連を図り、修学の日、社会教育施設での集団宿泊を行っている。

中学校は、九州以内としながらも、画一、固定的に目的地を選定しないよう指導している。

高校では、たとえば土木科はダムのある所など、学科の特質を生かした旅行先の選定を勧めている。

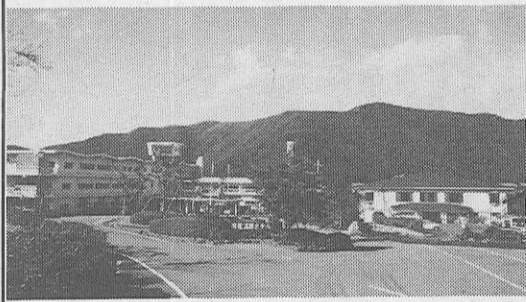
要するに、修学旅行のねらい、地理的条件、経費の三点から目的地の選定を考える必要がある。(鹿児島県)

2、今後の方針 文部省では、この連絡会議の結果を十分参考にすることにも、今後、各県における次の諸点についての実態を把握した上で、文部省としての方針を検討し、もし可能であるとなれば、来年度からの実施に向けて、通知等でこれらに関わる新しい方向を示すことになる、と考えられる。

○海外修学旅行や航空機の利用、船中泊の実施基準や最近の実施状況と今後の方針や課題、また、実施基準の見直しの有無とその内容、更に、船上での宿泊を伴う学校教育活動についての考え方や具体的な取組、あるいはその予定などについてである。

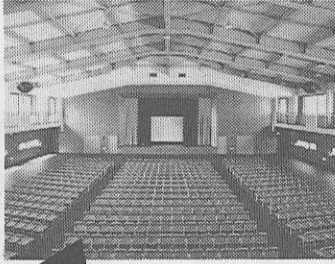
文部省教科調査官 高橋 哲夫

とびだせ自然へ 緑の箱根へ



〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164 電話0460-4-8595(代表)

箱根高原ホテル



レクチャーホール

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい 修学旅行の一夜をお過ごし下さい。



そのほか 冬期はスキー教室 夏期は林間学校

奥日光高原ホテル

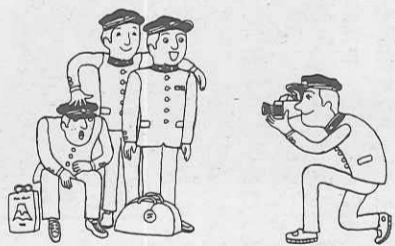
〒321-16 日光市湯元2549-6 (TEL) 0288-62-2121代表

楽しい修学旅行を、

より安心

出来るものに

「国内旅行傷害保険」 修学旅行用をおすすめします。



東京海上火災保険株式会社

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-212-6211(代表)



美しく 伊勢志摩

伊勢内宮前 岩戸屋へ

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。



伊勢市内宮前

岩戸屋

伊勢内宮前(〒516) TEL <0596> 23-3188(代) テレックス 4969-503 イセイワトヤ

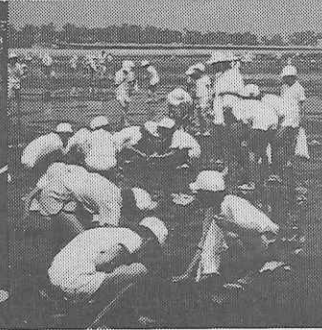
豊かな自然と、科学の調和

本田技研鈴鹿製作所工場見学

地曳網

エンジン教室

潮干狩



体験学習のご案内

- 地曳網 ●潮干狩 ●伊勢形紙彫り
- 茶摘み ●テーブルマナー
- 本田技研鈴鹿製作所工場見学
- エンジン教室

お問い合わせ・お申し込みは 鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎(0593)78-1111